

「閉塞性大腸癌に対する減圧法別の化学療法成績：大腸ステントと人工肛門造設の比較」について

1. 研究の対象

2013年1月から2026年1月に当院で切除不能閉塞性大腸癌に対して大腸ステント留置もしくは人工肛門造設術後に化学療法を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

【目的】

閉塞性大腸癌に対する減圧法には主に大腸ステント留置術と人工肛門造設術があります。大腸癌治療ガイドラインでは薬物療法適応例に対するステント留置術は長期偶発症の観点から推奨されていませんが、両者の治療成績を実臨床で比較した報告は限られています。そこで閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後および人工肛門増設後の化学療法における治療成績を比較検討することを目的としました。

【方法・観察期間】

2013年1月から2026年1月までに当院で治療を行った閉塞性大腸癌患者のうち、大腸ステント留置後に化学療法を施行した患者と人工肛門造設後に化学療法を施行した患者を対象としました。

【研究期間】

病院長許可日から2027年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、Performance status、原発巣部位、CROSS（ColoRectal Obstruction Scoring System）、大腸ステントの種類、ステント・ストーマ関連偶発症、入院期間、化学療法導入までの期間、化学療法継続期間、生存期間、化学療法の内容 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

磐田市立総合病院 消化器内科 池田慎也

住所：静岡県磐田市大久保 512 番地 3

電話：0538-38-5000